

**慢性腎臓病で、ハイリスクな冠動脈疾患または狭心症が疑われた
患者さんまたはそのご家族の方へ
臨床研究に対するご協力をお願い**

愛媛県立今治病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 慢性腎臓病を合併した冠動脈疾患 very high-risk 患者の疾病管理に対する冠動脈 MR プラークイメージングの検査精度の検証

【研究の目的】 冠動脈疾患や狭心症の方に対する検査としては、本研究の従来検査（運動負荷心電図、または負荷心筋 SPECT）によって、冠動脈の狭窄や閉塞によって心筋が必要とする血流が低下する現象（心筋虚血と言います）を評価することが主流でした。しかし、将来の心臓発作を引き起こす危険な冠動脈プラーク（不安定プラークと言います）の存在を評価することは困難です。一方、心臓 MRI は、冠動脈の狭窄の程度の評価に加えて、不安定プラークの存在も評価できると言われています。このような理由から、従来検査に比べて心臓 MRI 検査が優れた検査とも考えられます。しかし、従来検査では MRI 検査では評価できない心筋虚血の評価ができるという利点もあります。また、これまで MRI 検査と通常検査を直接比較した研究は、国内ばかりでなく海外においても実施されていませんでした。そこで、この研究は慢性腎臓病を合併した冠動脈疾患を高い確率で発症しやすい方（冠動脈疾患発症ベリ－ハイリスクな方）において、心臓 MRI を用いる検査（研究検査）によって冠動脈疾患の早期診断、ならびに心血管イベント発生の抑制効果を比較検討することを目的としています。

【対象となる方】

推算糸球体濾過量(eGFR)が 60 mL/分/1.73 m²未満となる慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) ステージ 3 以上、かつ 10 年間冠動脈疾患発症率が 22%以上と予測される吹田スコア 66 点以上で、冠動脈疾患または狭心症が疑われた以下の方（高血圧、糖尿病、非心原性脳梗塞、末梢動脈疾患、頸動脈狭窄、大動脈疾患、脂質異常症）

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報： 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査）、併用薬

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日

【個人情報の取扱い】

あなたから提供された診療情報など研究に関するデータは、研究目的にのみ使用されます。また、このデータは、研究グループのみが利用いたします。その際、個人が特定されないように処理し（匿名化）、外部に漏れないように厳重に管理いたします。また、この研究で得られた成績は、医学雑誌や学会などで公表しますが、あなたの名前などの個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。

研究で得られた情報が関連する研究に二次利用する場合は、新たに研究計画書を作成し、別途倫理審査委員会の承認を受けて実施します。その場合もあなたを特定できる情報が使われることはありません。

【研究責任者】

愛媛県立今治病院

循環器内科 医監部長 大下 晃

【問い合わせ先】

今治市石井町4丁目5-5

愛媛県立今治病院

循環器内科 医監部長 大下 晃

電話 0898-32-7111 FAX 0898-22-1398